

平成 29 年度 大阪府立河南高等学校 第 3 回学校協議会 報告

〔 日 時 平成 30 年 1 月 24 日 (水) 15:00 ～
場 所 本校校長室 〕

1 校長挨拶

2 議事

(1) 現状報告 (◎印：委員、○印：学校)

① 第 2 回授業アンケート報告 (教頭)

○校内平均は第 1 回目より、0.04 上がり 3.10、個人の最高平均も 0.1 上がり 3.56、最低も 0.1 上がり 2.59 である。

◎個人平均の最高、最低がそれぞれ向上し、また極端に低い者もない。校内平均も第 1 回より全体的に向上し、0.04 ポイント向上するなど先生方の取り組みの成果が現れている。また、生徒の質問 8、9 において近年で最も高い数値となっている。今後も取り組みを続けられることを願う。

② 学校教育自己診断の結果について (東首席)

○保護者の結果は、昨年下がり傾向の項目が改善されている。肯定的な回答が 80%以上の項目も多数あった。生徒の結果も大幅に改善した項目が多数あった。授業評価も改善傾向にある。しかし、肯定評価の 1 が減少し、2 が上昇している項目については少し気になる。本をまったく読まない生徒の割合が 63%であり、今後何か対策を講じる必要がある。

◎生徒、保護者とも前年度より、ほとんどの項目で向上するなど、一年間の取り組みの成果が現れている。とくに授業評価で改善傾向にある。読書習慣がない生徒が多いのは気になる。読書習慣が付いている者の方が学力は高い傾向がある。大学入試が記述式になると読書習慣があると有利、読解力を鍛えなければならない。読書習慣を付ける方法を考えなければならない。

③ 今年度を振り返って

・進路途中経過 (田中進路指導主事)

○現時点で国公立大学に 3 名合格。センター試験受験者は 183 名 (51.4%) であった。近大の公募推薦受験者は大幅に減少した。

◎今の若者に「駅近」を好む傾向があり、街の中心部に戻ってきている大学もある。

・生活指導部 (横山首席)

○遅刻数は、不登校傾向の生徒が増加し、遅刻・欠席ともに増加した。不登校生徒への対応が課題となっている。一方、2 学期終了時点で皆勤者数はここ 3 年間では最も多い。

◎欠席数が増えている反面、皆勤者数が増えているのは立派である。

○生徒心得に載っている校則について委員の先生方からご意見をお願いします。

◎校則について、この内容で問題ないと判断し、承認します。

・特別講演会 (横山首席)

○今年度は 10 月に実施した。奥村幸治氏は明快な語り口調で、イチロー選手や田中将大投手にまつわるエピソードが随所に出てきて、生徒にとって大変心に響くものであったと思われる。特に 3 年生は自分の進路に結び付けて講演を聞いていたようだ。

・初任者 (山手隆二 教諭、内本泰輔 教諭)

○母校に勤務できて光栄で、来年度は担任として頑張りたい。

○ICT 教育に関心があり、授業で実践しているが、もっとこのことを勉強し、よりよい授業ができるようにしたい。

④ 平成 29、30 年度学校経営計画及び学校評価について (校長)

○30 年度分は、中期目標を部分的に文言修正した。確かな学力の育成の項目で新学習指導要領への対応と大学入試制度への対応について変更しています。

◎次年度は学習指導要領の改訂及び新大学入試改革にともなう取り組みを推進されたい。

3 校長謝辞